ヴィンテージ2020：やりがいのある年

2020年は、晴天の後に雨が降ったり、寒さに続いて暖かかったりと、逆の生育シーズンとして記憶されることでしょう。産地の特徴と組み合わさり、ワイン生産者にとっては多くの直感と忍耐が必要でした。それは報われ、爽やかでフレッシュな白ワイン、バランス良い赤ワイン、希少な甘口ワインが期待できます。

2020年の栽培期は生産地ごとに大きく異なるにもかかわらず、今年はフレッシュでアロマティックな軽やかな白ワインで、生き生きとしたストラクチャーを持つワインが出来てきています。言い換えれば、クラシックな"オーストリア"ヴィンテージです。赤ワインの中心産地のいくつかでは、生理学的なブドウの成熟度が高く、中程度のアルコール度数で、非常に高品質なものへの期待が高まっているため、赤ワインについてはもう少し微妙な差異がありそうです。

刻々と変化する気象条件

乾燥した名ばかりの冬の後、一部の地域では発芽が少し遅れました。4月の非常に暖かく晴れた日は、多くの場所で極端な乾燥を伴って数週間続いたため、発育を加速させることはほとんどありませんでした。凍えるような夜が何度かあり、霜害が起こりやすい場所では被害が出ましたが、全体的には取るに足らないものでした。5月は大雨に見舞われ、6月も湿気が多く変わりやすい天候でした。開花時期は例年通りで、一般的にはなんら問題ありませんでしたが、一部の品種では所々で花ぶるいが見られました。

晴天と雨が交互に訪れる古典的な夏が続き、熱波や気温の急上昇はありませんでした。いずれにしても、降水量が多いために樹勢が旺盛になり、病害発生リスクが高いため、菌類病の蔓延に対抗するためには、慎重な剪定作業とフルーツゾーンの通気をよくすることが重要でした。8月中旬には、ブドウ畑は非常に良い状態になっていました。しかし、地域によっては局地的な雹が発生し、ヴァッハウ、クレムスタール、トライゼンタールの一部の地域で深刻な被害をもたらし、ブルゲンラントやシュタイヤーマークのブドウ栽培の町も影響を受けました。
9月も対照的な月でした。日照時間は夏並みに長く、日中の気温も高くなった一方で、月末には記録的な降水量を記録した豪雨が続いたところも多くありました。生産者たちは、暖かく湿った天

候の中でブドウを健康に保つために、かなりの畑仕事をしていました。夜間の気温が比較的低いことが、香りの形成や酸味に好影響を与えました。主要な産地で収穫は9月上旬に始まり、10月下旬まで非常に良い状態で続きました。雹の影響を受けた産地以外でも、綿密な選果とそれに伴うコストのかかる収穫作業が求められました。

ニーダーエステライヒとウィーン：広域

ニーダーエステライヒとウィーンでは、非常にフレッシュでフルーティーなワインが期待され、近年よりもアルコール度数がやや低く、酸味がより高いでしょう。

代表的なグリューナー・ヴェルトリーナーも、リースリングやピノ・ファミリーも、ブドウ品種の典型的な特徴がうまく表現されています。ムスカテラーやトラミネールのようなアロマティックなワインが、そのポテンシャルを存分に発揮するのは若干難しいかもしれません。クラシックワインとゲヴェイツヴァイン（地方名称ワイン）は、大胆なフレッシュさとクリアな果実味、爽やかで強すぎない酸味が組み合わさり、非常に心地良いワインになるでしょう。白のリザーヴワインのパフォーマンスが待ち望まれています。2020年は綿密な選果のため、生産量が減少しました。リーデンヴァイン（単一畑ワイン）や、バランス、正確さ、ストラクチュア、長期熟成の安定性を備えたプレミアムワインは期待できます。

テルメンレギオンとカルヌントゥムの主要な赤ワイン生産地は、すべてのブドウ品種とカテゴリーで、フルーティーでやや軽やか、エレガントな赤ワインが期待できます；最上のワインは、2016年ヴィンテージの繊細な果実味に匹敵するかもしれません。ツヴァイゲルトやブラウフレンキッシュと並んで、ザンクト・ラウレントやピノ・ノワールが特に有望です。

祝福されたブルゲンラント？

数々のレポートや初期のテイスティングによると、ブルゲンラントは現行ヴィンテージの勝者のひとつになりうるでしょう。秋の大雨はノイジードル湖のワイン村には全く及ばず、ブルゲンラント中央部や南部のワイン村にはほとんど影響がありませんでした。その一方で、気候条件による早熟化の恩恵を平均以上に享受することができました。そのため、ノイジードル湖周辺の収穫は、主に9月後半の天候の変化の前に完了しました。唯一の難点は、局地的な雹が何度か降ったことでした。

すべてのブドウ品種から造られる2020年の白ワインは、成熟した調和のとれた風味が特徴で、それが爽やかな酸味によって引き立てられているため、ライタベルクや同種のワインへの期待が高まります。

赤ワインの品質に関しては、ブルゲンラントの全てのアペラシオンにも期待が寄せられています。冷涼な年にはいつもそうであるように、2020年には収量を減らすことが重要でした。最良の場合では、2016年のものと比較しても遜色のない、冷涼感のある上品さと柔らかな果実味の赤ワインができるでしょう。全体的に、バランスの取れたツヴァイゲルトとブラウフレンキッシュは驚くほどの成熟度を誇り、一方で、適切な場所で生産されたフランスの品種も注目に値するでしょう。

デザートワインに関して予測を立てるのはまだ少し早いですが、晩熟で貴腐の希少な甘口ワインのルスター・アウスブルッフDACやノイジードラーゼーDACは、少量ですが生産することができました。時折発生した夜間の霜により、アイスヴァインの生産をも可能にしました。

根っからのシュタイヤーマルク人

シュタイヤーマルクの軽めの白のゲベイツヴァインは、間違いなく地域性を呈しています。ワイン通の方には、爽やかでフレッシュなヴェルシュリースリング、ムスカテラー、ソーヴィニョンをお楽しみいただけます。より濃厚なオルツヴァイン（村名称ワイン）やリーデンヴァイン（単一畑ワイン）もまた、それらを際立たせる特徴を持っています。

シュタイヤーマルクでも、9月の雨の降った低気圧の時期が転機となり、収穫が中断されました。収穫を再開する前に雨が降った後、しばらく待つ勇気のあった生産者たちは、10月の素晴らしい晴天に報われ、完熟したブドウを収穫することができました。もちろん、健全な収穫のためには、正確な選果が不可欠であり、それに伴い収量は減少します。こうして、シュタイヤーマルクの生産者の高い名声を支えているリーデンヴァインを収穫することができたのです。

シュタイヤーマルクのフラッグシップであるソーヴィニヨン・ブランは、自然に良質な水の恩恵を受けているので、特に魅力的で特徴的なワインになるはずです。前述の待ち時間を経て、ピノ・ファミリーも良いレベルで推移しており、これはザウザルのリースリングにも当てはまります。ムスカテラーにとっては、時折、斑入りのショウジョウバエが発生し、早期収穫を余儀なくされたこともあり、少々厳しい面も

あるかもしれません。全体的に、シュタイヤーマークの白ワインは、残念ながら少量しか収穫できなかった2013年と2016年のワインと同様の特徴になっています。

ヴェストシュタイヤーマルクのシルヒャーも同様で、高い成熟度を特徴としてきたここ数年より、典型的なフレッシュさと酸味が戻ってきており、ボディも軽めになっています。

驚きのベルグラント

様々なワイン栽培の飛び地からなるベルグラントでは、今年、総合的な満足感が発揮されていました。

オーバーエステライヒのワイン生産者は、天候の変化に全く影響されず、非常に成功したヴィンテージと報告しています。従って、果汁と力強さに満ちた成熟した強いワインが期待されます。

ケルンテン（カリント州）では、春と夏の豊富な降水量に続いて、同様に快適な秋が訪れ、満足のいく成熟度と独特のアロマを実現しました。酸度が高く、収量や糖度の変化は昨年よりも低くなっていますが、飲みやすいダイナミックなワインが生産されました。

オーストリアの最西端に位置するチロリアンとフォアアールベルクのブドウ畑では、ベト病とウドンコ病の蔓延を防ぐために、慎重なブドウ樹の管理がこれまで以上に重要となりました。ボトリティス菌を防ぐためには、フルーツゾーンの徹底した除葉が必要でした。この地の秋に典型的なアルプスのフェーン風は、2020年にはほとんど発生しませんでしたが、10月中旬から下旬までには、平均以上の品質の熟したブドウの収穫を終えることができました。

事項
天候条件
• 5月までは温暖で非常に乾燥；その後は湿度があり変わりやすい天候 • 夏は晴天と雨天が交互に；適度な気温、一部重大な雹害 • 9　月：平均以上の暖かさ、月末にかけて降水量が多い；夜間の気温は比較的低い

ニーダーエステライヒとウィーン
● グリューナー・ヴェルトリーナー、リースリング、ピノの特徴的な品種特性とフレッシュさ ● ムスカテラーとトラミネールのようなアロマティックワインは、比較的控えめ ● ゲヴェイツヴァイン（地方名称ワイン）とクラシックワイン：フレッシュでフルーティー、爽やかな酸味 ● リーデンヴァイン（単一畑ワイン）と、バランス、正確さ、ストラクチュアを備えたリザーヴワイン 　○ 厳格な選果により収量減 ● 赤ワイン: フルーティでエレガント、幾分か軽め
ブルゲンラント
● 秋の降雨による影響はほとんどない ● 白ワイン: 爽やかな酸味と良いバランスで調和の取れたワイン ● 赤ワイン: ジューシーな果実風味とエレガントな冷涼感 　○ ツヴァイゲルトとブラウフレンキッシュ: バランスよく、高い成熟度 ● デザートワイン 　○ 東西のノイジードル湖畔の貴腐甘口ワインは低収量 　○ 時折、アイスワインの収穫が可能に
シュタイヤーマルク
● 白ワイン: 品種特性のある、クラシックなシュタイヤーマルク 　○ 爽やかでフレッシュなゲヴェイツヴァイン（地方名称ワイン）、厳格に選果されたリーデンヴァイン（単一畑ワイン） 　○ ソーヴィニヨン・ブランは特に魅力的で特徴的 ● シルヒャー： 　○ 新鮮さに焦点があっている

ベルグラント
● 一般的にとても満足度が高い年 ● オーバーエステライヒ: 　○ 成熟した強いワインが期待できる ● ケルンテン: 　○ 成熟度が高く、独特のアロマがあり、飲みやすい。 ● チロルとフォアアールベルク: 　○ 菌類病対策が特に重要 　○ 上質な熟したブドウ

プレスリリース2021年2月

AWMB, Sabine Bauer-Wolf
AWMB, Georg Schullian
Tel.: +43 1 503 92 67
Fax: +43 1 503 92 67-70
info@austrianwine.com
www.austrianwine.com
www.facebook.com/austrianwine
www.instagram.com/austrianwine